

宮川右岸堤防（桜堤）の工事施工について

堤防整備
計画区間

平成27年 3月 2日(月)

国土交通省三重河川国道事務所

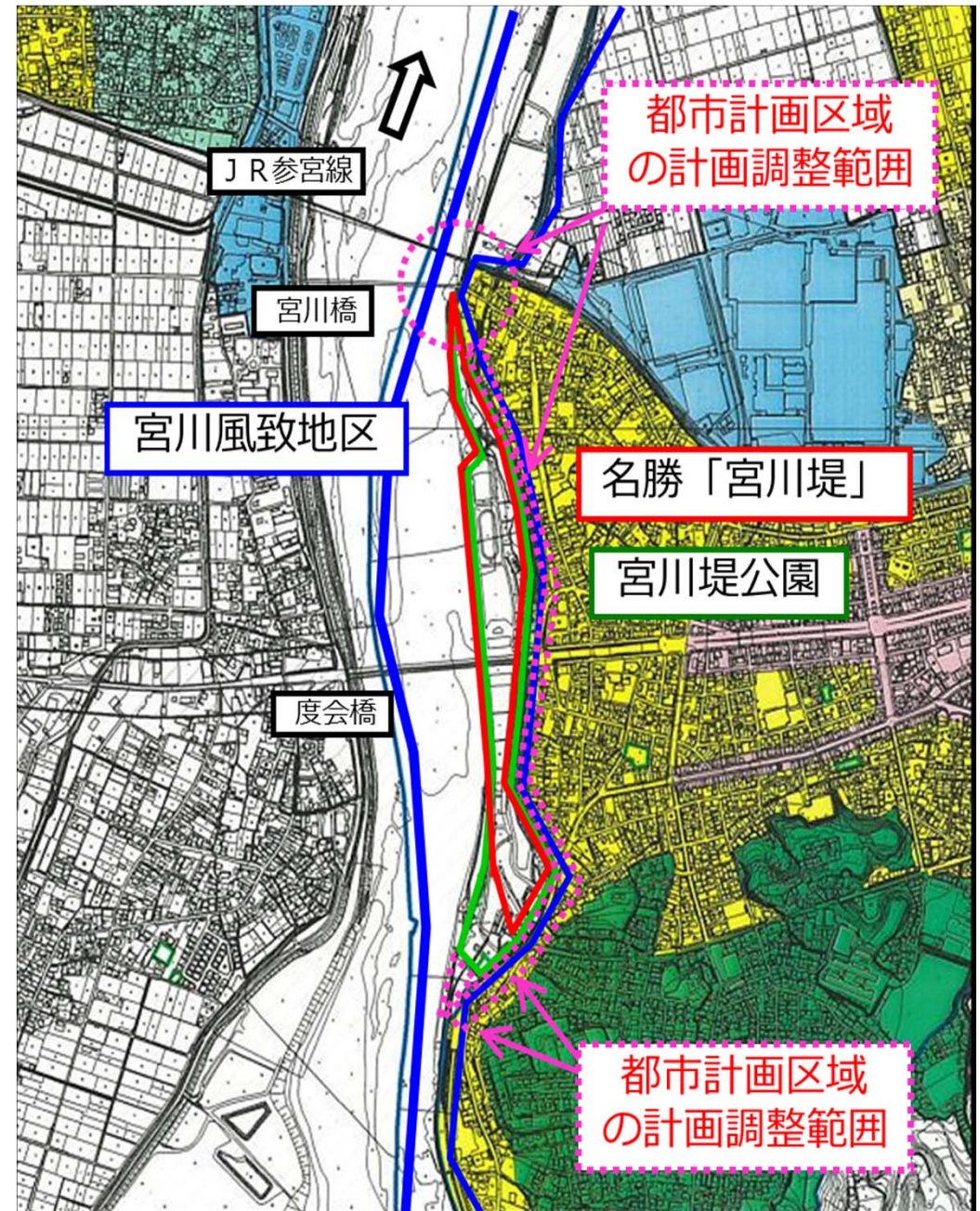
1. 工事に着手するための手続き

【堤防改修工事】

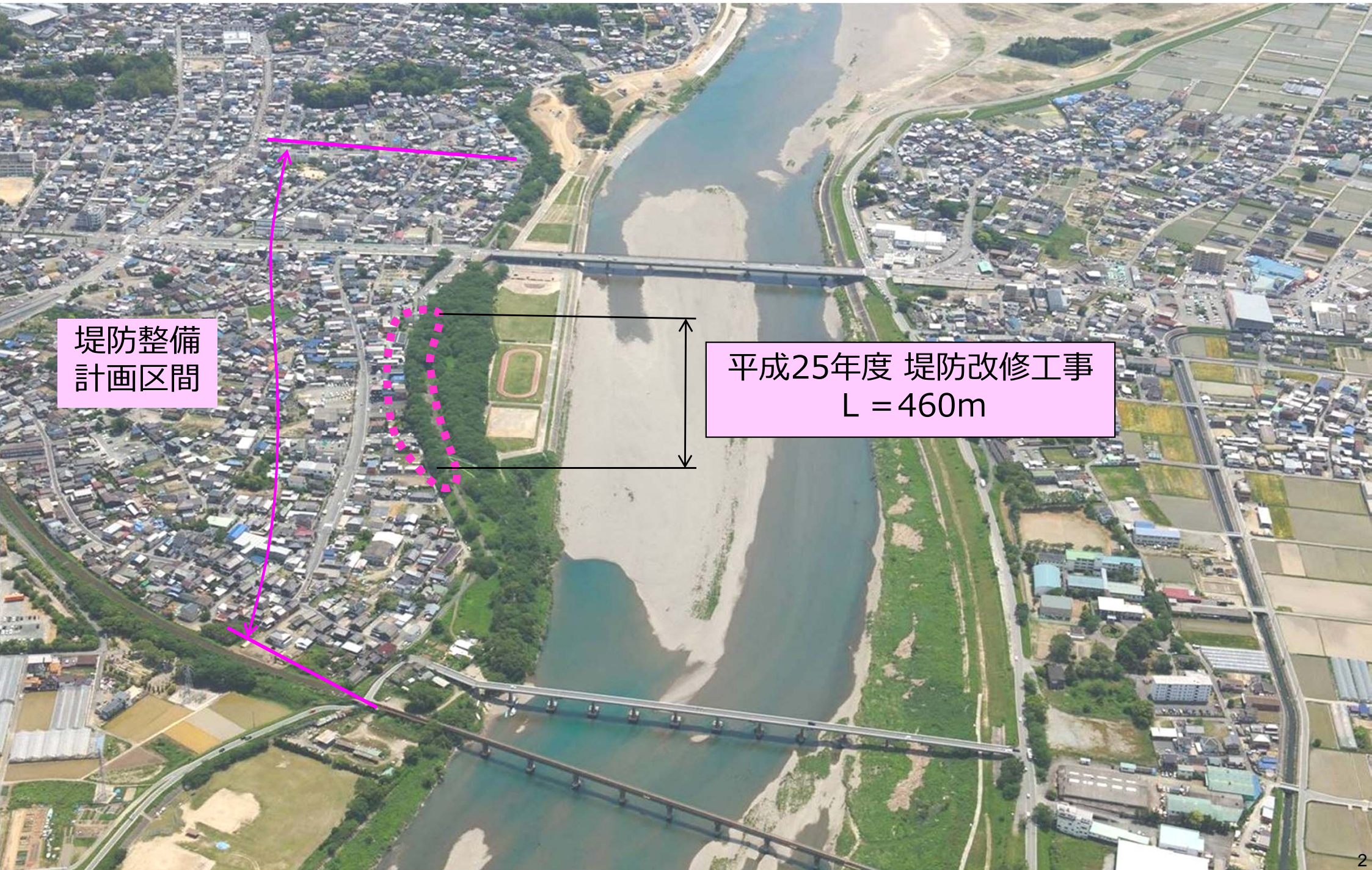
- ①現状変更（シダレザクラ移植）
三重県教育委員会（H26.2.12許可）
三重県教育委員会（H26.3.26完了報告）
- ②現状変更（堤防工事）
三重県教育委員会（H26.4.3許可）
- ③風致地区内行為通知（堤防工事）
伊勢市（H26.4.14通知）
- ④景観計画区域内における行為の通知
伊勢市（H26.4.14通知）
- ⑤現状変更（桜の補植）
三重県教育委員会（H26.12.2許可）

【低水護岸整備工事】

- ①現状変更
三重県教育委員会（H26.10.7許可）
- ②風致地区内行為通知
伊勢市（H26.10.21通知）
- ③景観計画区域内における行為の通知
伊勢市（H26.10.21通知）



2. H26年度までの工事施工概要等【堤防改修工事】



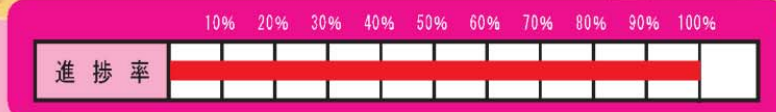
洪水対策のため堤防(桜堤)強化工事を行っています。

工期:平成26年4月中旬から
平成27年3月末頃まで



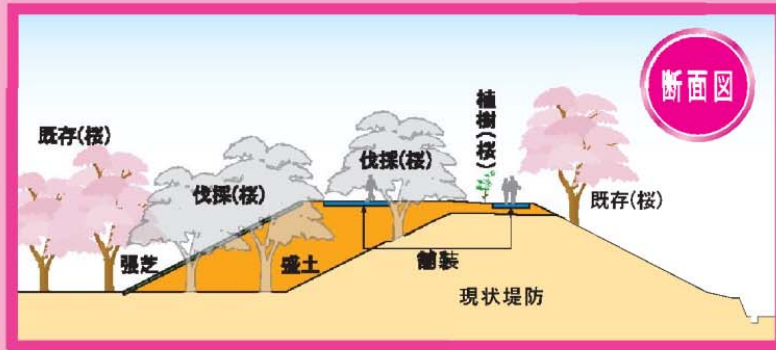
完成
予想図

将来のイメージパース



工程表

工種	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
河川土工(盛土)		■								■			
法覆護岸工(張芝)				■									
付帯道路工(舗装)											■		
伐採(桜)		■							■				

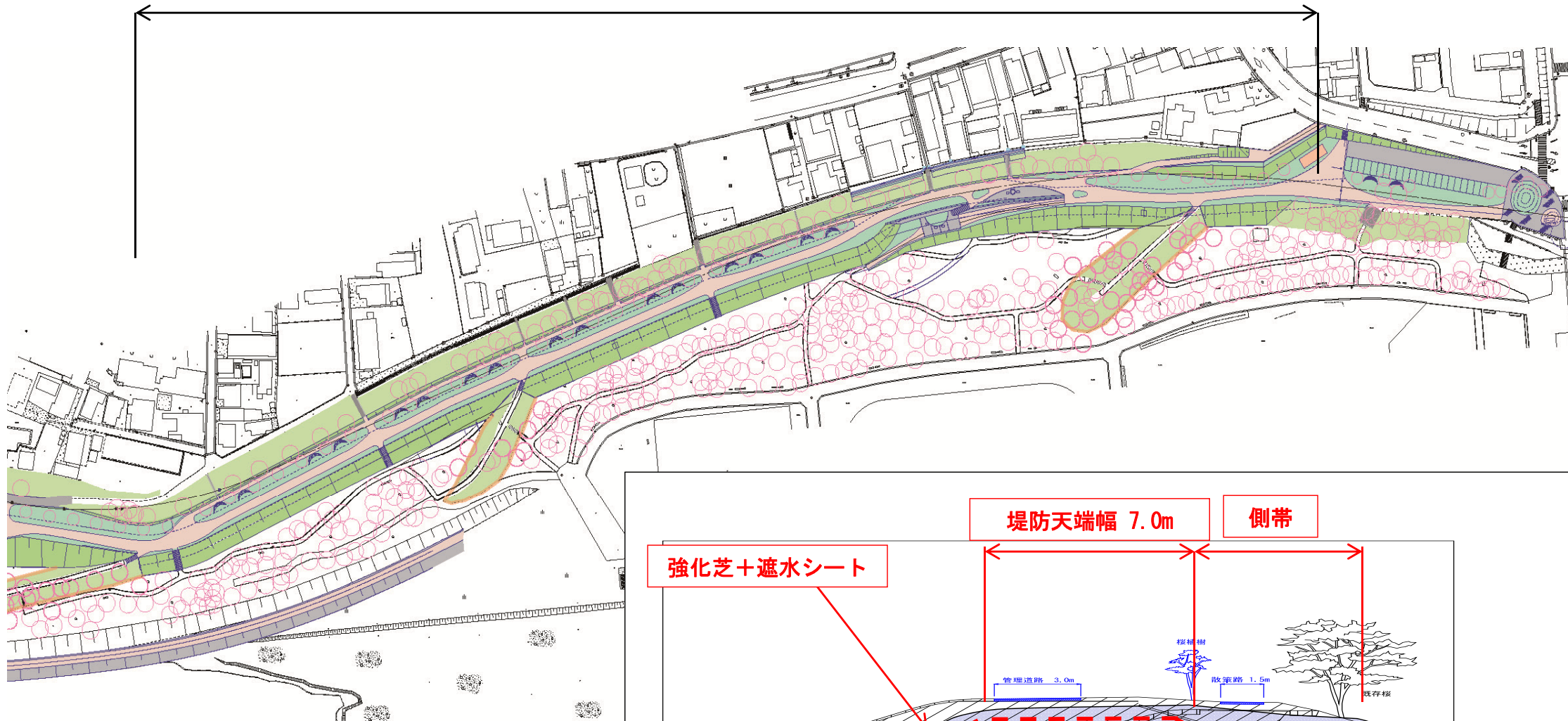


発注者:国土交通省 中部地方整備局
三重河川国道事務所 宮川出張所
TEL 0596-25-1018

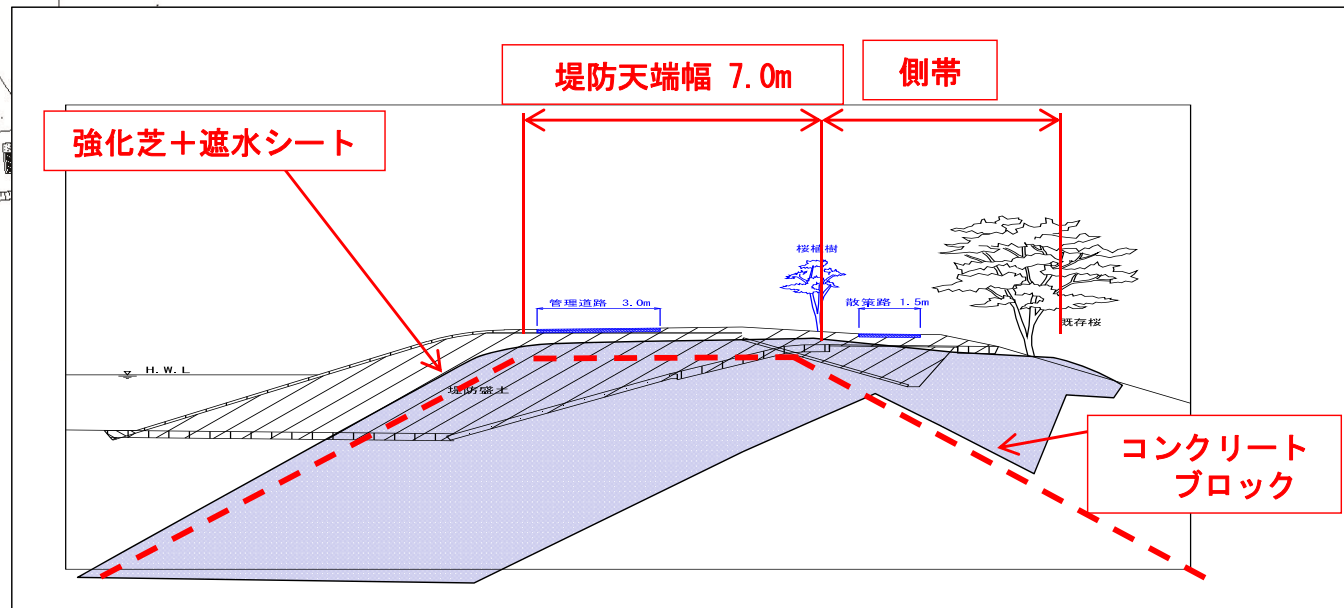
受注者:宮本建設株式会社
TEL 0596-28-6131

②工事概要【堤防改修工事】

平成25年度 堤防改修工事 L = 460m



◆ 宮川桜堤改修区間 約1.0km
のうち、460m施工

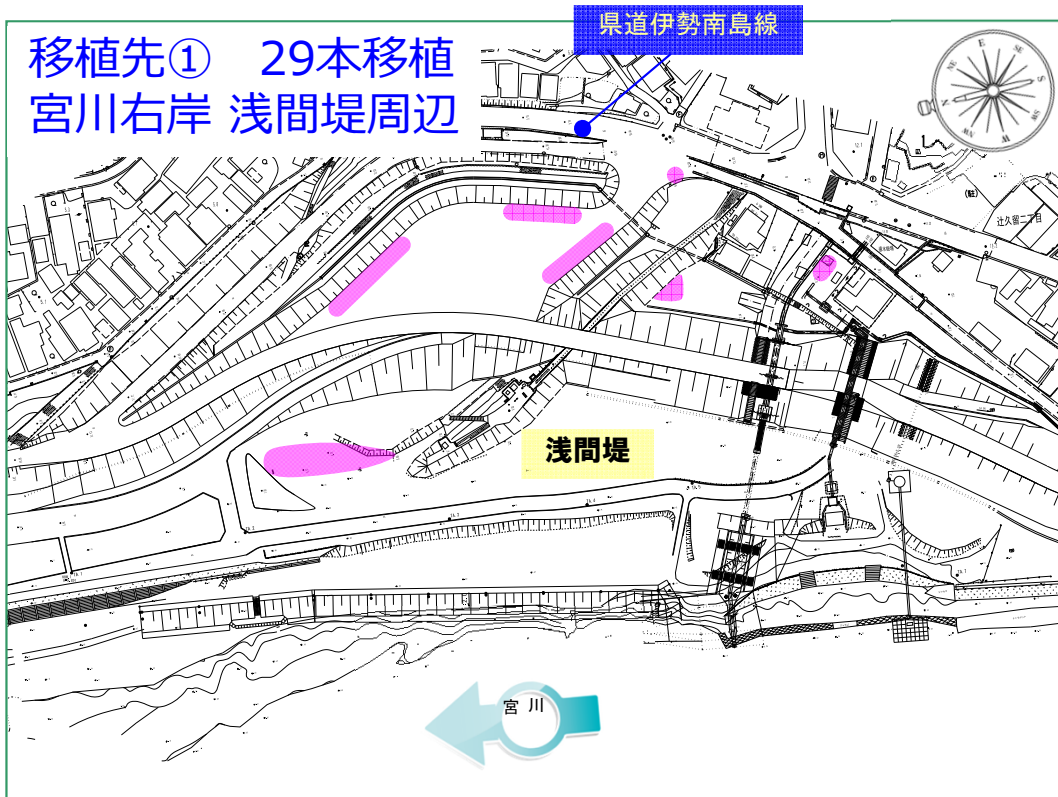


③ 景観等に配慮したもの（シダレザクラの移植）

- ◆ 地元住民が植栽してから6年程度経過、樹高3～5m程度、49本を移植。
- ◆ 極力移植できる桜は近隣に移植するように、地元住民からの要望がある。

- ◆ シダレザクラの移植（H25.2/25～）
 - ・ 樹木医に確認したところ、高水敷のシダレザクラが移植可能（適期1～2月）であることから、堤防改修工事に先立ち、現状変更許可申請手続きを行い、移植を実施。

移植先① 29本移植
宮川右岸 浅間堤周辺



移植先② 20本移植
宮川左岸 中須町付近



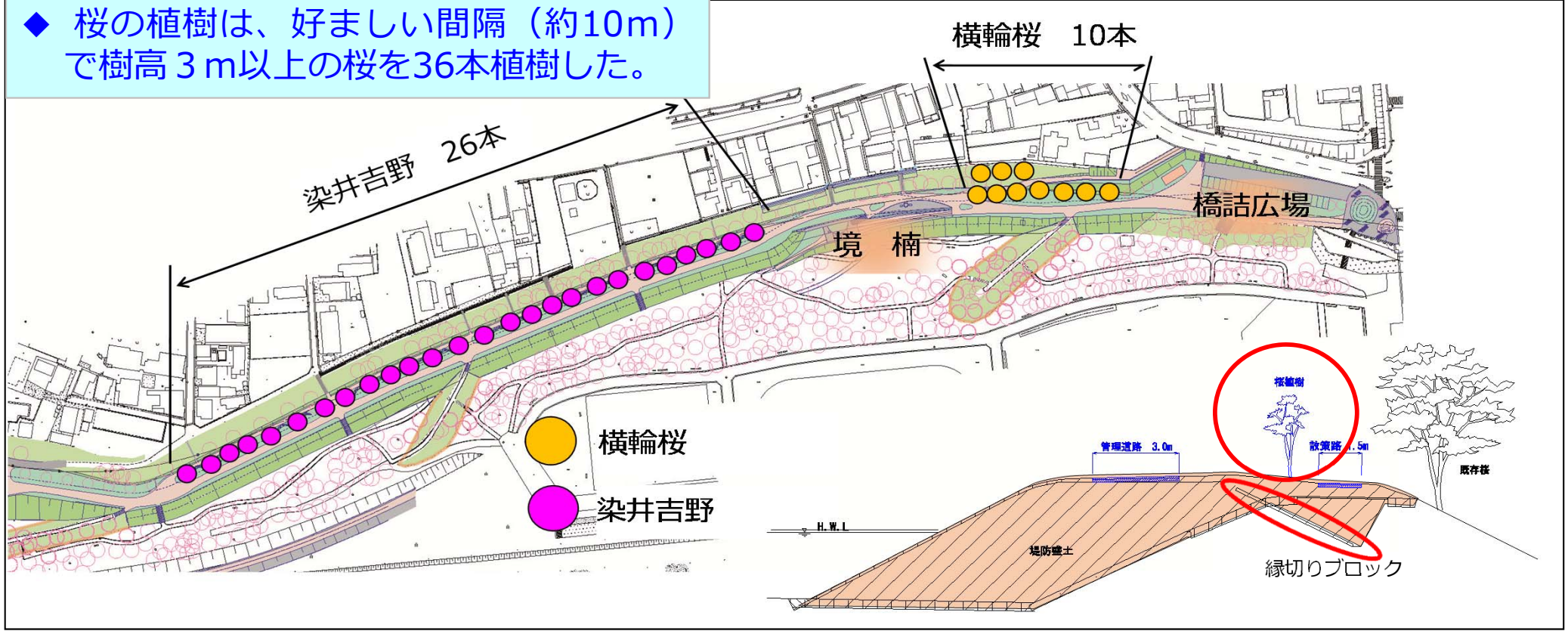
【移植前】 周防堤付近のシダレザクラ



【移植後】 浅間堤付近のシダレザクラ

④ 景観等に配慮したもの（桜の植樹）

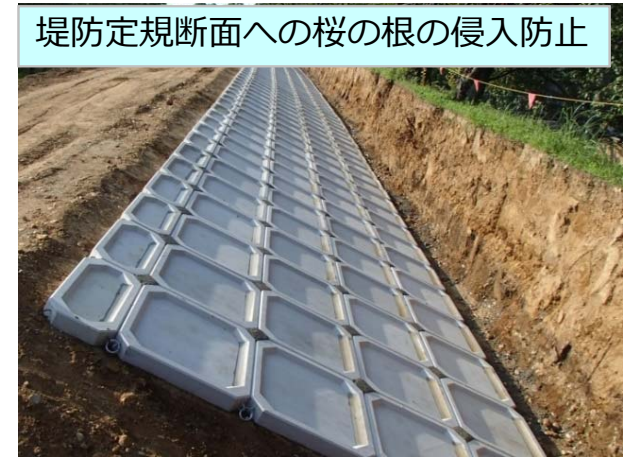
◆ 桜の植樹は、好ましい間隔（約10m）で樹高3m以上の桜を36本植樹した。



ソメイヨシノ

横輪桜

縁切りブロック

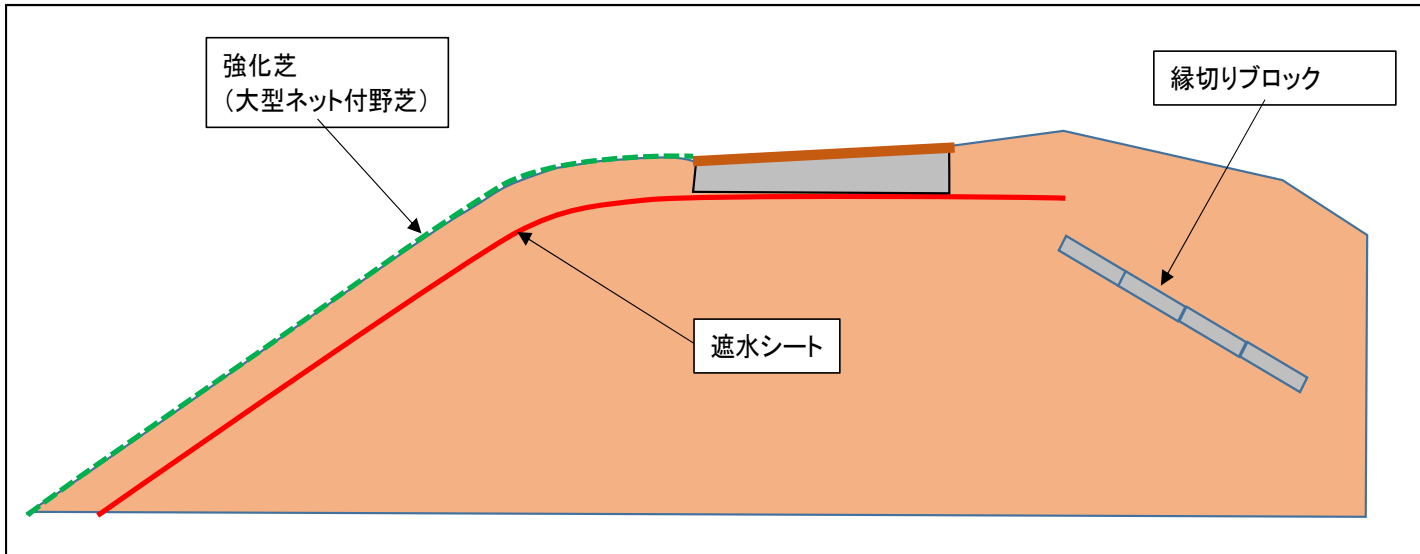


堤防定規断面への桜の根の侵入防止

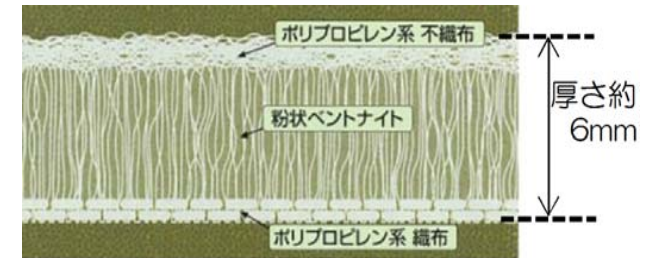
⑤ 景観等に配慮したもの（遮水シートと強化芝）

緑化可能な遮水シート護岸

強化芝（大型ネット付野芝） + ベントナイトシート（ピン打ち可能な遮水シート）



遮水シート詳細図



遮水シート設置



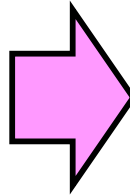
強化芝敷設状況



⑥ 景観等に配慮したもの（境楠周辺の整備）



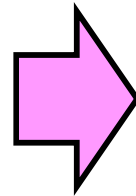
- ◆ 境楠は特殊堤断面（5分勾配の石積構造）により、現在の位置に存置した。
- ◆ 小広場とスロープを設けて境楠にまつわる行事など広場的な活用ができるようにする。



⑦ 景観等に配慮したもの（大日権現社の整備）

- ◆ 大日権現社は、堤防背後地を嵩上げて堤防断面を確保し、現在の位置に存置した。

整備前



現在（整備済み）

⑧ 景観等に配慮したもの（石積み・石張り・階段）

- ◆ 境楠周辺の石積みや小広場、階段工は、宮川堤の歴史、文化、景観に配慮して「自然石」を採用した。
- ・ 石積み護岸、階段工の石材は、明度は6以下を目安に選定した（安山岩）。
- ・ 境楠周辺の石張りは、伊勢神宮内宮と同じ石材を使用し、表面はビシャン仕上げとした。



⑨ 景観等に配慮したもの（舗装、築山、距離標）

◆ 舗装

- ・ 自然景観（桜並木、緑地）になじむように、土系に近い脱色アスファルト舗装とした。

◆ 築山

- ・ 堤防上に人のにぎわいを生み出す工夫として、くつろぎや休憩ができる場所を整備した。

◆ 距離標のベースコン等

- ・ 宮川堤の歴史文化、魅力を高めることができる質感を高める工夫を行った。



舗装

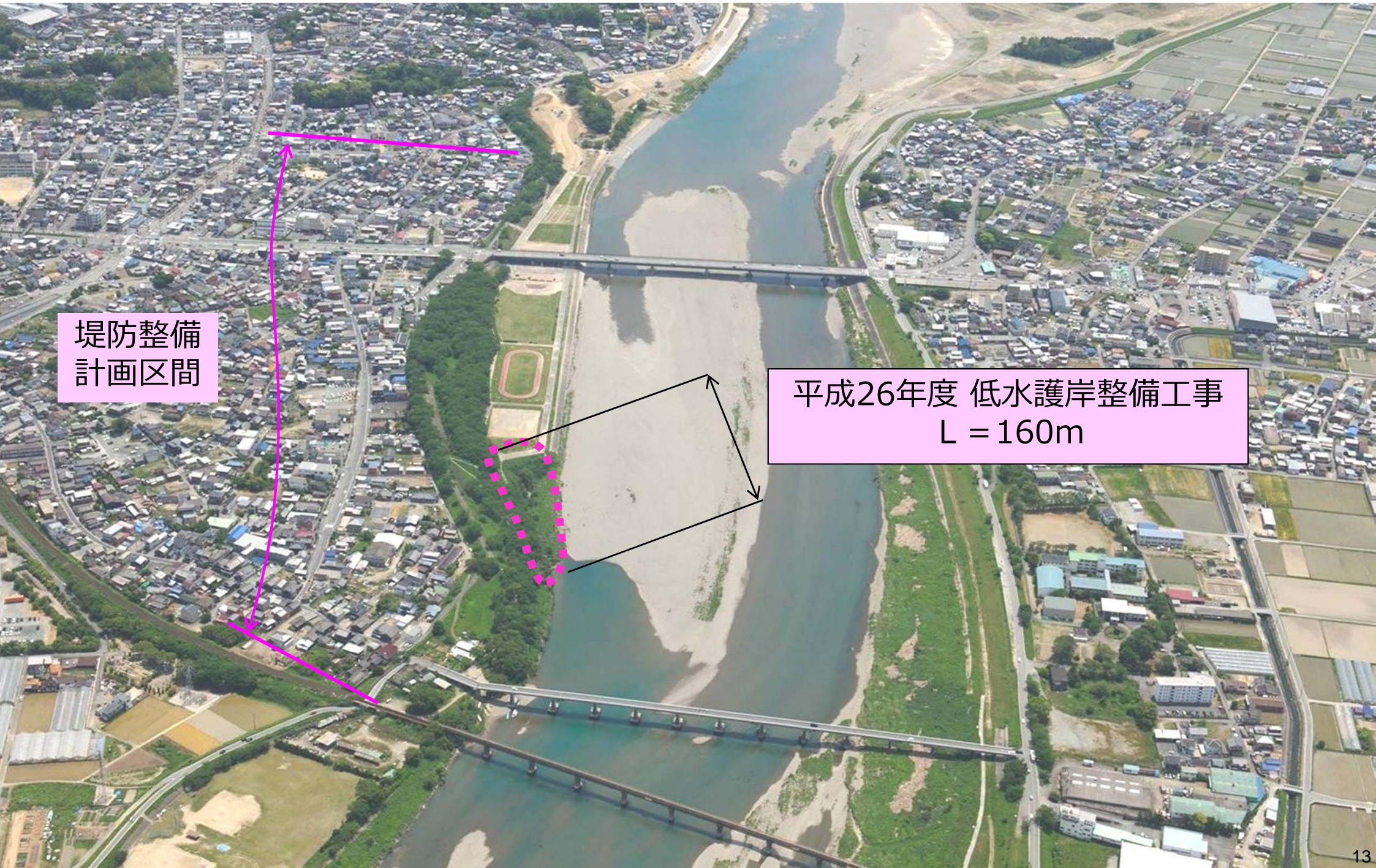


築山



距離標

3. H26年度までの工事施工概要等【低水護岸整備工事】



堤防整備
計画区間

平成26年度 低水護岸整備工事
L = 160m

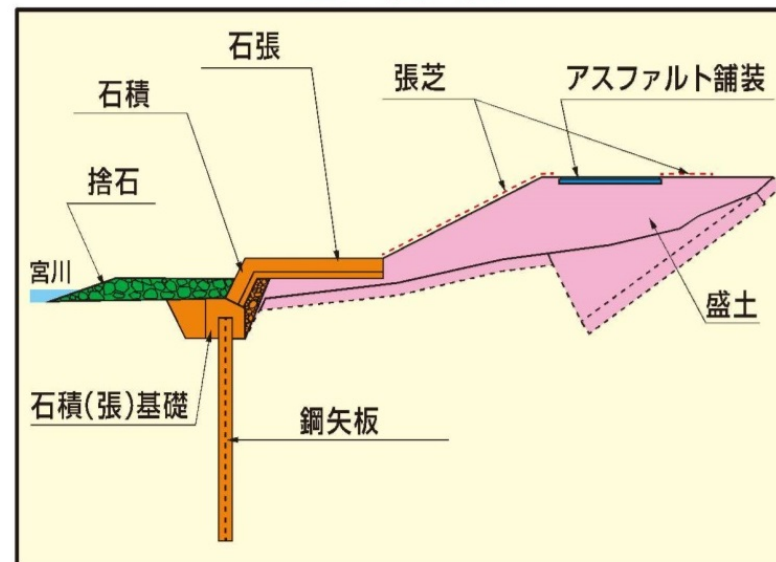
洪水対策のため堤防工事をおこなっています

平成26年度 宮川中島地区整備工事

完成イメージ図



工法図



工種	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
河川土工							
法覆護岸工							
水制工							
付帯道路工							
仮設工							
付属物設置工							
構造物撤去工							

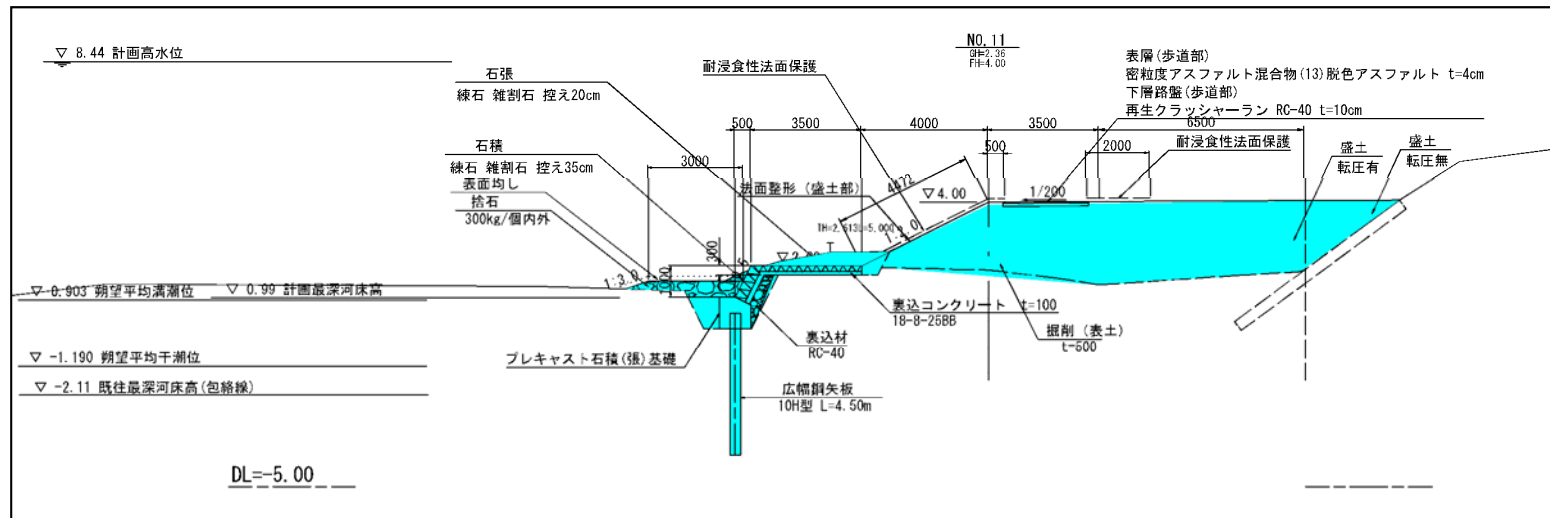
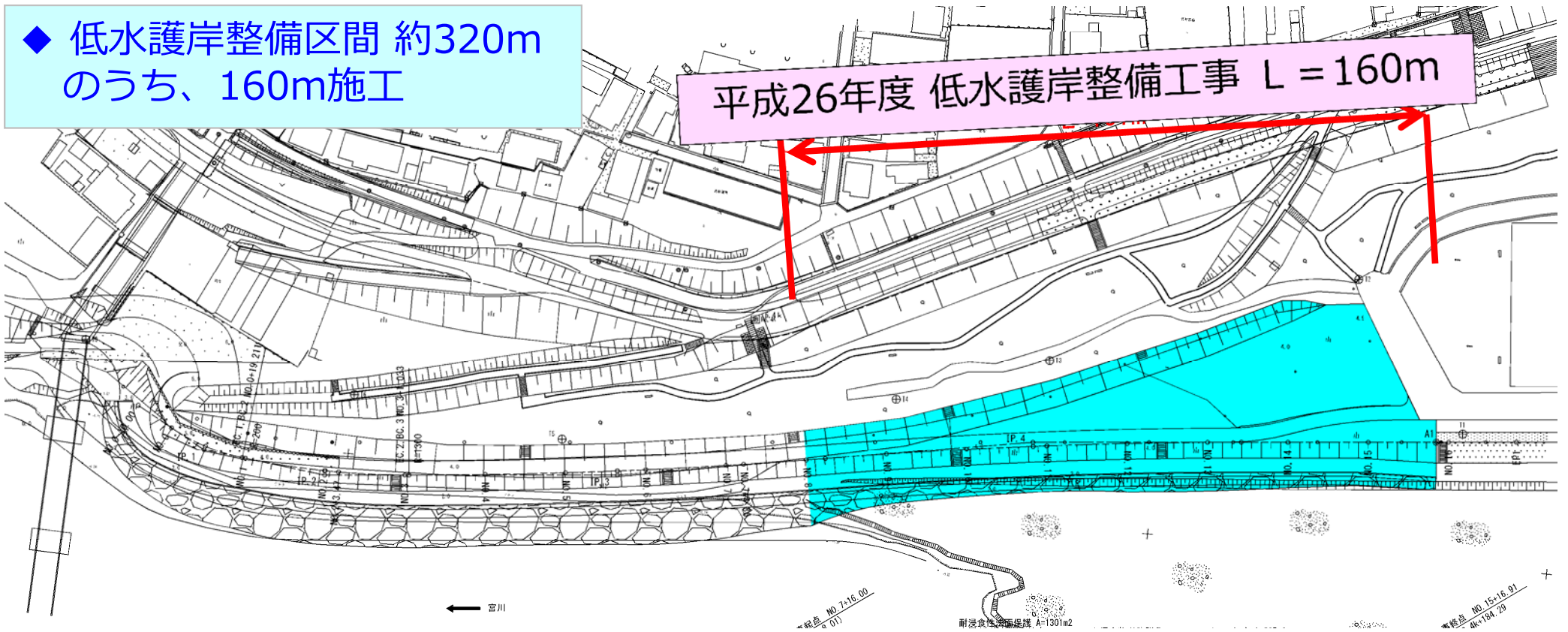
発注者 国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所
宮川出張所 TEL 0596-25-1018

施工業者 株式会社 山野建設
連絡先 TEL 0596-22-3188

②工事概要【低水護岸整備工事】

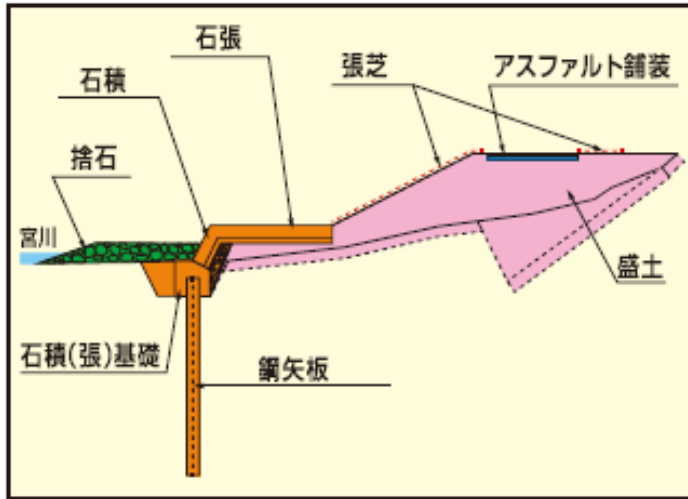
◆ 低水護岸整備区間 約320m
のうち、160m施工

平成26年度 低水護岸整備工事 L = 160m



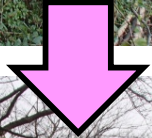
③ 景観等に配慮したもの（耐浸食性法面保護、石積、石張）

- ◆ 自然石積み護岸：宮川堤の歴史、文化、景観にふさわしい「自然石」を使用
- ◆ 耐浸食性法面保護：野芝とジオテキスタイルネットが一体化構造



④ 景観等に配慮したもの（メダケの保全）

整備前



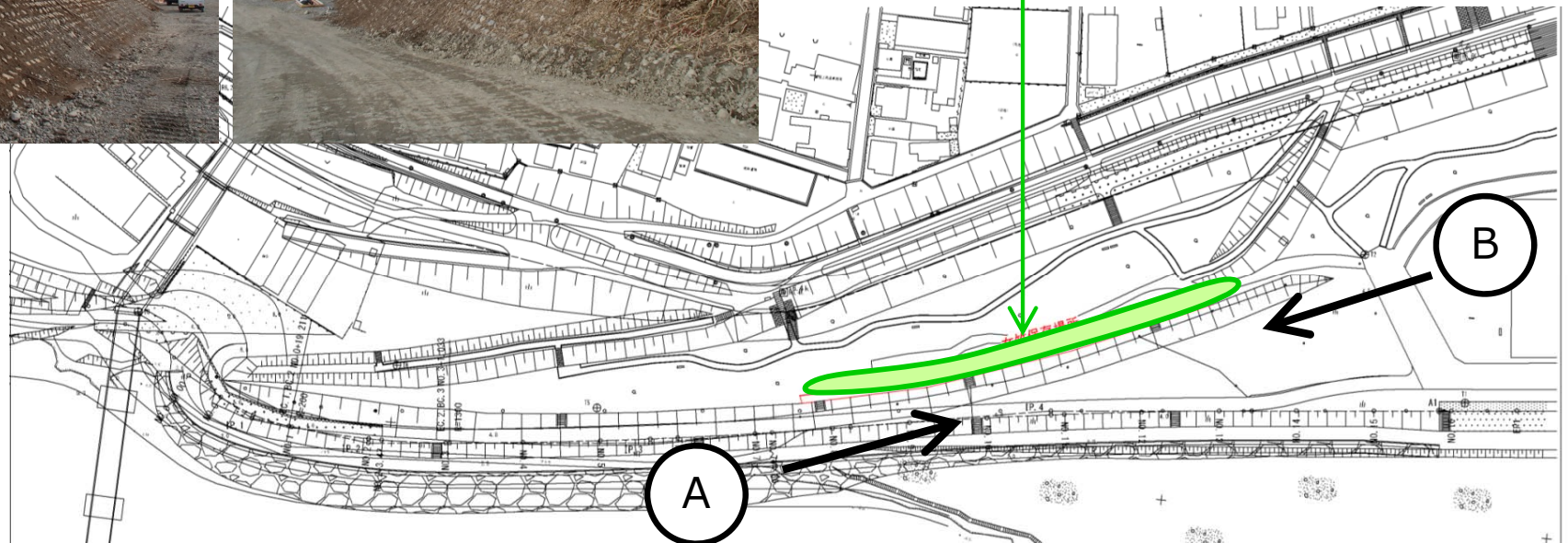
整備中



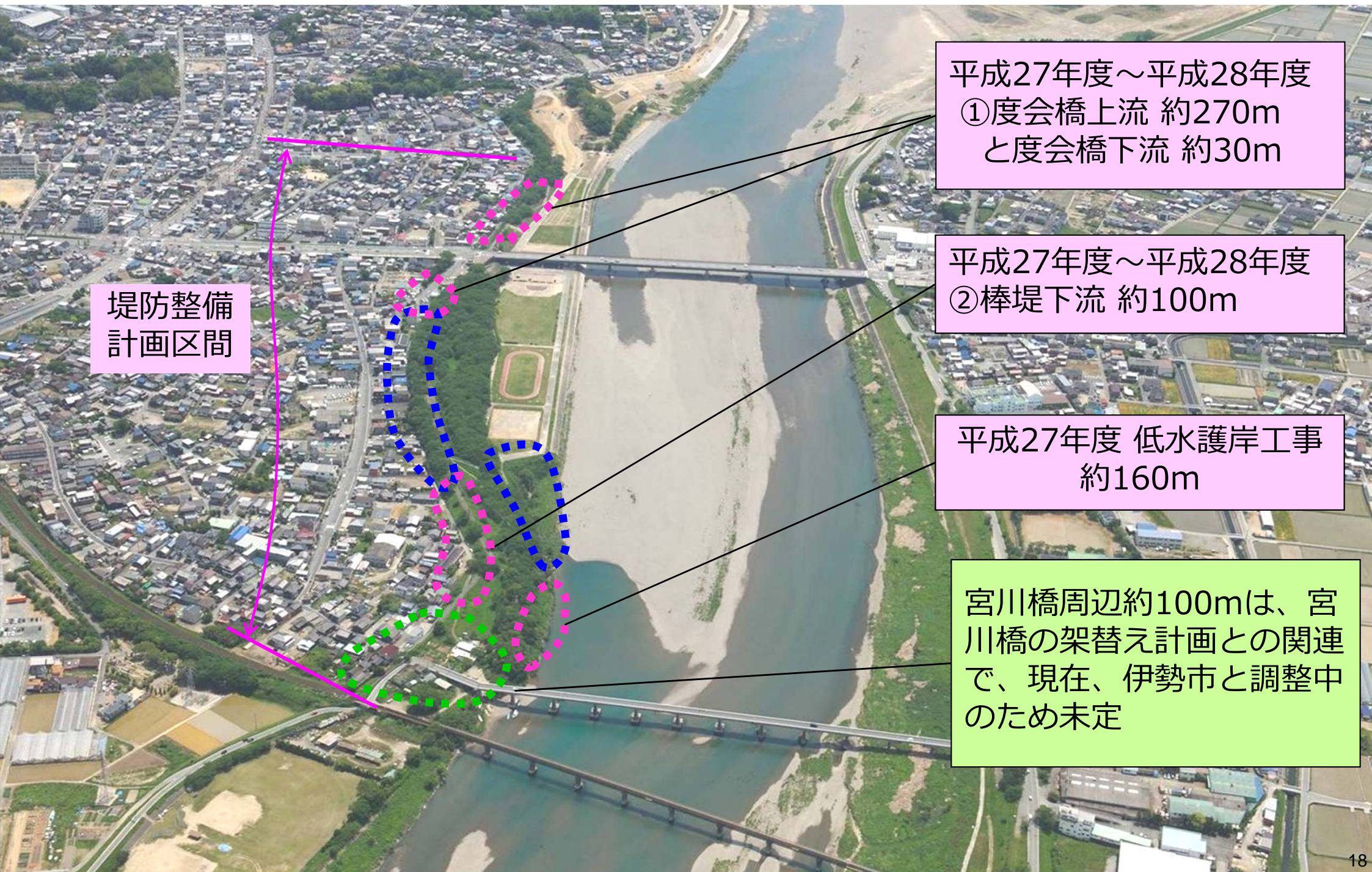
◆ メダケ群落の保全

- ・ 棒堤上流のメダケ群落は、突出し堤とともに、洪水の流れを緩和し、堤防を防護する重要な役割を担っている。
- ・ このメダケを含む空間要素を継承することが、桜の渡しや宮川堤の歴史的景観の整備と継承につながると考えられる。

メダケ保全箇所



4. 今後の工事スケジュール



堤防整備
計画区間

平成27年度～平成28年度
①度会橋上流 約270m
と度会橋下流 約30m

平成27年度～平成28年度
②棒堤下流 約100m

平成27年度 低水護岸工事
約160m

宮川橋周辺約100mは、宮川橋の架替え計画との関連で、現在、伊勢市と調整中のため未定